



宮城県大会開催について

今年の宮城県大会は、11月23日(木)勤労感謝の日)に塩竈ガス体育館で開催されます。この大会を機にレベルアップを図りましょう。

また、仙台杜都道院については、10月22日(日)に仙台市武道祭が青葉体育館で開催されます。大会を楽しみましょう。



仙台杜都道院での稽古で

護身術教室開催について

暫くの間、開催をしております。11月4日(土)と11日(土)の二日間の短期間ではありますが、開催いたします。

「広報しおかぜ」11月号への掲載を予定しておりますが、知り合い等ございましたら紹介をお願い致します。

大澤隆管長 縁起

不撓不屈・七転び八起き

先月は本山でコロナが明けて以来、久々の講習会となる「羅漢練拳」練磨と交流の集いが行われました。受講者による演武発表は、開祖が少林寺拳法を創始するヒントとなった嵩山少林寺の白衣殿の壁画にある羅漢練拳図のようでもありました。老若男女問わず、世代や立場を超えて、共に楽しく修練しながら、自己を確立し、自他共楽の世の中をつくる少林寺拳法の原点に返った気がします。今月25日は少林寺拳法創始の日があります。今一度、少林寺拳法が何のために創始されたかを振り返る機会としていただきたいと思います。

さて、10月は金剛禅にとって大事な日がある達磨大師が亡くなったとされる10月5



塩竈道院での稽古で

日を達磨祭として、全国の教区や道院においてこの日に近い日を選んで儀式が営まれます。達磨大師の遺徳を偲び、不撓不屈、七転び八起きの精神を私たちも日々の修行で身に付けていこうと誓い合います。

人生において困難はつきものです。心が挫けそうになることも1回や2回ではないでしょう。しかし、私たち人間はそれを超える力を持っています。たとえ挫けることがあっても、挫けて初めて知ることもあります。そしてそれを乗り越えたときには、

今後の予定

- ◎ 10月22日(日) 仙台市武道祭(青葉体育館)
- ◎ 10月29日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 11月4日(土)・11日(土) 護身術教室(塩竈道院専有道場)
- ◎ 11月18日(土) 東北地区本山認定研修会(福島須賀川武道館)

成長と共に新たな景色が見えるはずですが、どれだけ転んだつてかまいません。転ばないようにすることも大事ですが、何度転んでも最後には立ち上がる、それが不撓不屈、七転び八起きという言葉で表される、あきらめない心と何度でも立ち上がる精神です。これまで何気なく本尊に合掌礼をしていた方もいるかもしれません。拝むことによ

社会武道指導者研修会 本山派遣講師との懇談会で



り何かを得られるわけではなく、本尊への合掌は達磨大師の不撓不屈、七転び八起きの精神に私たちもならつていこうと誓うことになります。

9月いっぱいまで暑さが続きましたが、ようやく秋らしい気候になってきました。今月は達磨大師の遺徳と少林寺拳法創始の原点に思いを馳せながら、思う存分修行に励み、身心共に磨いていきましょう。

中国古典 紹介

「三十六策、走るをこれ上計とす」を掲載

『南斉書』

ふつう「三十六計、逃げるにしかず」と言いならわされているが、元をたどると、こういう表現であった。南北朝時代に活躍した壇道済だんどうさいという將軍の戦いぶりを評したことばだという。

三十六策(計)とは、たくさんの戦略戦術である。そのなかで、なぜ逃げるが上計(もつとも上手な戦い方)とされるのか。勝てる見込みのないのに、当たつて砕けたのでは、元も子もない。勝てぬと判断したら、さつさと撤退して戦力を温存する。そうすれば、勝てるチャンスはまたいくらでもめぐつてくる、という発想に他ならない。中国人は、む

かしからこういう戦い方を得意としてきた。

状況が不利なときには、しやにむに突撃して玉砕してしまつたのでは、体が幾つあつても足りない。そんなときは、やはりひとまず撤退して、つぎの戦いに備えるのが賢明であろう。これは、人生の生き方にも経営戦略にも、そつくり当てはまるかもしれない。

東北地区教区長会議を終えて 海鋒責任役員・大澤代表と

